

令和6年度

事業報告書

令和6年度 法人運営事業報告書
令和6年度 施設課事業報告書
令和6年度 在宅課事業報告書

社会福祉法人やまゆり

法人基本理念に基づき、地域の皆様や利用者様、家族様との結びつきを重視して住み慣れたそれぞれの地域で、だれもが安心して住むことができ、住んで良かったと感じていただけるよう全事業を行ってきた。

主な実施事業

1. 各事業所の円滑かつ安定的な運営

令和4年9月に策定した「やまゆり中長期経営計画」を柱として、事業の円滑かつ安定的な運営及び経営のために業務改善等を実行し様々な課題の解決を行った。

新規エリアでの事業展開として、令和6年4月1日に大社地区に事業譲受により、1日20名定員の通所介護施設浜山デイサービスセンター野いちごを開所した。

また、運営の手法として職員が数値的な目標を意識するために、日々の稼働率を「見える化」してきた結果として、意識改革ができ、稼働率のアップ、職員のモチベーション維持につながった。支出については、管理職を中心に情報共有、経営課題の分析や現状の見直し等、PDCAサイクルを回しながら課題の解決を行い、固定費の削減を図った。

また、さらなる収入拡大による経営安定のため、神門地区で事業展開をされている小規模多機能型居宅介護事業所、住宅型有料老人ホーム山ぼうし、新規の事業展開として平田地区で障がい福祉事業を展開している株式会社フィリアとの事業譲受についての協議や準備を重ねた。山ぼうし、フィリアとも双方の合意のもと、令和7年4月1日からのそれぞれの事業を開始できる運びとなった。

八幡原事業所については、公益事業として、「NPO 法人スサノオの風」に賃貸借を行った。

2. 安心・安全対策

新型コロナウイルス感染症が事業所内で発生した際には、マニュアルに従って万全な体制で対応した。

感染症の感染予防対策として職員間での「やまゆり KYC 活動」を徹底して行った。

3. 人材育成・人材確保活動

(1) SNS (Facebook、Instagram) から法人の事業の様子や職員の活動、風景などを情報発信することで「やまゆり」の PR を行った。

(2) 衛生委員会を毎月開催。健康診断やストレスチェックを実施し職員の健康づくりを図り、働きやすい職場づくりに取り組んだ。

- (3) 処遇改善加算を活用し、職員処遇の改善を行い、雇用の安定に努めた。
- (4) 新規学卒採用者の確保については、施設課を主体に、トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校の外部講師の受託等を通して、当法人の PR 活動を行い、新規採用者を確保した。
- (5) 新卒者及び前年度採用した職員を対象に、新規採用職員研修を実施し、法人職員としての心構えや介護等の知識を理解することで、職員資質の向上に努めた。また、可能な外部研修に参加するとともに、法人内の研修について感染対策を施しながら計画的に行い、よりよいケアを提供するためのスキルアップに努めた。

4. 地域とのつながり（地域貢献活動）

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、ふれあいだんだん祭り、介護実践発表会は中止した。

また、音楽サークル（Tree Rings）は活動の場を広げ、各事業所での演奏会や地域（ごっこい祭りや地域のサロン等）へ出かけ演奏をすることで、地域の皆様とのつながりを広げ、法人の PR 活動を行った。職員内でも活動の輪が広がり、参加する人数も増え、楽しみや特技を発揮できる場所となり、職員定着に結び付いた。

5. その他

建設以来25年を経た特別養護老人ホームは、老朽化し、様々な箇所では修繕が発生し、その都度多額の費用がかかっている。今後の建て替えを目標に、資金の確保等の準備を進めた。

コロナ禍依頼初めて、法人事業所全体での交流行事として、秋祭りを実施した。実行委員会を中心に、すべての事業所が協力し合い、利用者、職員ともに楽しい時間を過ごすことができた。

令和6年度 事業報告 法人運営

1. 会議の開催

各種会議を開催し、法人の円滑な運営を図った。

- (1) 理事会の開催 (6回: 5/29、7/5、9/24、1/15、1/27、3/25)
- (2) 理事協議会の開催 (1回: 7/5)
- (3) 評議員会の開催 (2回: 6/20、1/28)
(1回: 書面)
- (4) 評議員協議会の開催 (1回: 4/8)
- (5) 監査会の開催 (2回: 5/22、1/15)
- (6) 内部経理監査会の開催 (1回: 3/13)
- (7) 管理会 (12回: 毎月)
- (8) 衛生委員会 (12回: 毎月)

2. 研修会の開催及び参加

- (1) 役職員人権研修会の開催 (書面による研修)
- (2) 社会福祉法人指導監査説明会・研修会

3. 職員人事

- (1) 採用 18名 (内訳 正規9名、嘱託1名、臨時2名、パート6名)
- (2) 退職 19名 (内訳 正規1名、嘱託1名、パート17名)

4. 広報発行 4回 (6月、9月、1月、3月)

地域住民の方等へ当法人の事業内容や情報を提供するため、広報誌を作成し佐田町内、稗原地区の各世帯(約1,700世帯)や関係機関等へ配布した。

5. 理事会議案

議案第 1号	令和5年度事業報告及び令和5年度計算書類及び財産目録の承認について	第119回	令和6年5月29日
議案第 2号	定款の一部改正について	〃	〃
議案第 3号	役員等の報酬、費用弁償に関する規則の一部改正について	〃	〃
議案第 4号	評議員選任・解任委員の選任について	〃	〃
議案第 5号	定時評議員会の招集について	〃	〃
議案第 6号	就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 7号	給与に関する規程の一部改正について	〃	〃
議案第 8号	令和6年度資金収支補正予算(第1回)について	〃	〃
議案第 1号	定款細則の一部改正について	第120回	令和6年7月5日
議案第 2号	事務処理規程の一部改正について	〃	〃

議案第 3号	インターネットバンキング利用規程の創設について	第120回	令和6年7月5日
議案第 4号	就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 1号	給与に関する規程の一部改正について	第121回	令和6年9月24日
議案第 2号	臨時職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 3号	パート職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 4号	令和6年度資金収支補正予算（第2回）について	〃	〃
議案第 5号	小規模多機能型居宅介護事業所・住宅型有料老人ホーム山ぼうし 事業譲受について	〃	〃
議案第 6号	株式会社フィリア 事業譲受について	〃	〃
議案第 1号	事業譲受契約の締結について	第122回	令和7年1月15日
議案第 2号	定款の一部改正について	〃	〃
議案第 3号	臨時評議員会の招集について	〃	〃
議案第 4号	障がい者相談支援事業所ほっと運営規程の改正について	〃	〃
議案第 1号	小規模多機能型居宅介護事業の実施について	第123回	令和7年1月27日
議案第 2号	定款の一部改正について	〃	〃
議案第 1号	借入金について	第124回	令和7年3月25日
議案第 2号	組織管理規則の一部改正について	〃	〃
議案第 3号	業務規程の一部改正について	〃	〃
議案第 4号	経理規程の一部改正について	〃	〃
議案第 5号	就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 6号	給与等に関する規程の一部改正について	〃	〃
議案第 7号	準職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 8号	臨時職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 9号	パート職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 10号	嘱託職員就業規則の一部改正について	〃	〃
議案第 11号	職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正について	〃	〃
議案第 12号	役員等賠償責任保険契約について	〃	〃
議案第 13号	令和6年度資金収支補正予算（第3回）について	〃	〃
議案第 14号	小規模多機能型居宅介護事業所山ぼうし運営規程の制定について	〃	〃
議案第 15号	住宅型有料老人ホーム山ぼうし運営規程の制定について	〃	〃
議案第 16号	就労継続支援B型事業所フィリア運営規程の制	〃	〃

	定について		
議案第 17号	相談支援事業所フィリア運営規程の制定について	第124回	令和7年3月25日
議案第 18号	令和7年度事業計画及び資金収支予算について	〃	〃
議案第 19号	出雲市生活支援ハウス管理協定締結について	〃	〃
議案第 20号	フィリア勤務職員給与等に関する規程の制定について	〃	〃
議案第 21号	グループホームせせらぎの家運営規程の一部改正について	〃	〃

6. 評議員会議案

議案第 1号	令和5年度計算書類の承認について	第60回	令和6年6月20日
議案第 2号	定款の一部改正について	〃	〃
議案第 3号	役員等の報酬、費用弁償に関する規則の一部改正について	〃	〃
議案第 1号	定款の一部改正について	第61回	令和7年1月28日
議案第 1号	定款の一部改正について	第62回	書面

7. 公益事業

不動産の賃貸

八幡原事業所(建物、土地)の貸出

貸出先 NPO 法人スサノオの風

令和6年度 事業報告

特別養護老人ホームやまゆり苑・短期入所事業所

(介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業)

1. 利用実績

○特養入所実績 年間総計17,283名、一日平均入所者数47.4名

月	4	5	6	7	8	9
人数(名)	1416	1452	1448	1494	1484	1479

10	11	12	1	2	3
1515	1474	1482	1408	1255	1376

○短期入所実績(予防利用含む) 年間総計2,779名、一日平均利用者数7.6名

月	4	5	6	7	8	9
人数(名)	181	228	234	227	248	237

10	11	12	1	2	3
263	206	257	256	231	211

2. 介護度の状況(令和7年3月末日現在) 平均介護度 3.88

介護度	1	2	3	4	5	計
男性	0	0	6	3	2	11
女性	0	0	15	11	13	39
計	0	0	21	14	15	50

3. 平均年齢(令和7年3月末日現在)

男性86.3歳	女性91.0歳	全体平均 89.9歳
---------	---------	------------

4. 死亡者の状況

性別	看取りの場所 (病院)	看取りの場所 (自宅)	看取りの場所(苑)	合計
男性	1	0	4	5
女性	4	0	9	13
合計	5	0	13	18

5. 入院の状況

実人数	年間入院者延人数	年間入院者実日数(入・退院日を含む日数)
25名	34名	688日

6. 受診の状況(往診含む延人数)

歯科	精神科	皮膚科	泌尿器	整形	その他	救急	合計
19名	17名	22名	61名	6名	20名	39名	184名

7. 外出・外泊の状況

延べ外出者数	26件	延べ外泊者日数	0日
--------	-----	---------	----

8. 季節行事等の状況

月	内 容
5月	土砂災害避難訓練
6月	トリニティ学生ボランティア活動 稗原喜楽会イベント、吉栗サロン参加
7月	大社中福祉体験参加 日日是好日 防火訓練
8月	トリニティ学生ボランティア活動
9月	出雲三中、佐田中福祉体験参加 敬老会 施設課職員で実施
10月	ふれあいだんだん祭り 法人職員で実施
12月	クリスマス会
1月	とんど祭り
2月	節分祭 防火訓練
3月	物故者供養祭 施設課職員で実施

9. 地域交流（ボランティア含む）の状況

習字、喫茶、生花等のクラブ活動については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止とした。トリニティボランティア活動は、感染予防対策を図り実施。

10. 職員研修状況

別紙参照

11. 他機関、他施設よりの研修・視察の状況

新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止とした。

12. 広報活動

日常、イベントの様子をSNSにて発信した（発信数：約80件／年）

Tree Rings活動—ごっこ祭り、大呂夏祭り、法人内各事業所での音楽演奏によるPR活動。

13. 介護相談員の受け入れ

新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止とした。

14. 苦情について

受付窓口や第三者委員への苦情はなかった。

15. やまゆり苑家族会の活動について

月	内 容	
4月	家族会総会・清掃活動	中止
9月	敬老会	参加なし
10月	役員会 ふれあいだんだん祭り	参加なし
11月	家族会清掃活動	中止

【考察】

1. 利用実績について

(1) 昨年度と利用実績比較

- ・特養は、令和5年度年間総計17,405名、一日平均入所者数47.7名と比較し、令和6年度は年間総計が17,283名と122名の減。目標稼働率(48.6名/日)には到達していない。
- ・短期入所は、令和5年度年間総計2,517名、一日平均利用者数6.9名と比較し、令和6年度は年間総計が2,779名と262名の増。目標稼働率(9.4名/日)には到達していない。

(2) 利用者の状況と入退所動向

- ・介護度の分布、平均年齢、年間受診状況に大きな変化はない。
- ・死亡者数は、令和5年度13名に対し、令和6年度18名と5名の増。
- ・退所から入所までの空所日数は、令和5年度909日から令和6年度331日と早期の入所を行うことができている。平均日数は令和5年度50.5日から18.4日と目標の14日以内には届かないものの、特養申し込み者の事前調査を行ったことで、早期入所ができている。当苑申し込み者に事前調査を行なったことで、すぐに入所の意向のある申込者が明確になった。加えて、既に他の施設への入所をしている、死亡している、又は入所の意向はない等により待機利用者数(女性23名、男性20名)が減となった。
- ・年間入院者実日数をみると、令和5年度393日に対し令和6年度688日と295日増えた。空床期間を短縮できたにもかかわらず、特養の実績が低下したのは入院者の増が原因。
- ・早期入所はできているが、入院者数が多い。①入所される方の入院されるリスクが高い又は、②体調管理や介護技術、知識の向上など、施設職員のサービスの質を向上する仕組みや計画が不十分であることが考えられる。①については、介護度の分布や平均年齢、受診状況が前年度と比較し変化はないことから、サービスを利用された利用者に入院リスクは高くなっていないと考える。②については、入院された理由(診断)の経過を追ひ、病気についての理解とそれに対応するマニュアルを改定、共有していく。

2. 福祉機器の活用について

- ・インカム(職員間の情報伝達機器)、眠りスキャンの導入(見守り機器)後、使用方法について委員会で検討した。使いこなすという視点において、ICT委員が使用方法の理解を持ち取り組むことで、機器を考えて活用できる職員が増加した。これにより、機器の取り扱いや情報共有ができる環境が強化された。適宜の情報共有や服薬確認など、事故防止の観点でも使用が出来ている。
- ・タブレット導入については記録の方法が確立しているが、記録の内容やペーパーレスという視点において課題がある。

3. 広報活動(利用者、待機利用者、職員獲得)について

- ・Tree Ringsのバンド活動について、利用者のQOL向上や職員のモチベーションアップとなっている。活動内容がSNSに掲示され施設PRとしての役割を担っている。
- ・SNS発信については、年間80件の発信を行うことができたが、その効果について明確にすることは出来なかった。発信内容や発信数などがどのように影響しているか評価が出来ていなかった。SNSへ繋げる活動として、SNS発信を継続しながら短期入所空所状況を含め、他法人の居宅事業所、病院の相

談員、あんしん支援センターとのやり取りについて実施していく。

4. 家族交流・社会交流（感染症対策との関連）

・新型コロナウイルス感染症により、中止をしていた家族会行事については、本年度も中止した。家族と利用者、法人を繋ぐサービスの質を向上する大切な会としての位置付けとして再認識し、次年度の家族会役員会にて、中止していた活動について再検討する。

5. サービスの質向上について

・ユマニチュード技法によるケアを中心にPDCAサイクルを活用し、各委員会や専門職が一体となって、褥瘡予防、転倒予防、安全な食事、睡眠促進、活動、穏やかな生活などQOLの向上につなげることを継続する。

令和 6 年度 事業報告
グループホームせせらぎの家
(認知症対応型共同生活介護)

1. 利用実績（入院含む）年間総計 6, 370 人、一日平均入所者数 17. 4 人

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
人数（名）	515	558	540	542	500	532

1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
558	540	553	531	475	526

2. 介護度の状況（令和 7 年 3 月末現在） 平均介護度 2. 47

介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男性	1	2	1	1	0	5
女性	5	1	2	4	0	12
計	5	4	3	5	0	17

3. 平均年齢（令和 7 年 3 月末現在）

男性 83. 6 歳	女性 88. 4 歳	全体平均 87 歳
------------	------------	-----------

4. 死亡者の状況

性別	看取りの場所 （病院）	看取りの場所 （自宅）	看取りの場所 （せせらぎ）	合計
男性	0	0	0	0
女性	1	0	2	2
合計	1	0	2	3

5. 入院の状況

実人数	年間入院者延人数	年間入院者実日数 （入・退院日を含む日数）
1 0 名	1 0 名	3 2 7

6. 季節行事等の状況

月	内 容
4 月	キララ多伎へ外出（両ユニット）
5 月	
6 月	カウベルへ外出（はな✿はな）
7 月	日日是好日、はな✿はなマーケット（通所やまゆり）
8 月	移動サービス（珈琲）
9 月	コタバ、トリニティ実習、老年看護実習
10 月	法人秋祭り、八幡原秋祭り、老年看護実習
11 月	ごっこ祭り、花の郷へ外出（はな✿はな）、老年看護実習
12 月	コタバ、老年看護実習
1 月	とんど祭り
2 月	防火訓練
3 月	コタバ、交流会（家族、地域住民）、物故者供養、防火訓練
	誕生会などは各ユニットで実施

7. 職員の研修状況

施設課の研修に参加

【外部研修】

認知症実践者研修… 2 名

防火管理者研修 … 1 名

8. 他施設、他機関よりの研修・視察の状況

出東福祉会より法人やまゆりを視察。その中でせせらぎの家を見学される。
2 月、実地指導が行われた。

9. 広報活動

令和 6 年度は、コタバやごっこ祭りにせせらぎマーケットとして参加。
また、せせらぎの家でも実施。そこで、来場された方にせせらぎの取り組みを知ってもらう機会が出来た。

SNS にも昨年に引き続き、活動の様子や普段の様子を投稿している。

【考察】

1. 利用実績について

・令和5年度は年間総計5,674人一日平均入所者数15.55人。令和6年度は年間総計6,370人、一日平均入所者数17.4人。年間総計は696人の増。退所者数については令和5年度が5名（看取り2名、他施設入所3名）。令和6年度は8名（看取り2名、他施設入所8名）。データが少ないが2ユニットになったことで退所者も増え、それに伴って入所者数も増えるので、待機者数は一定以上必要。年間入院者数、実日数についても満床で入院がない月が10月と11月のみであった。

・退所から入所までの期間が、平均27.8日となっている。目標が14日となっている中で、倍かかっている。今後は所長、管理者、ケアマネと協力し、14日以内の入所を目指す。

・待機者数を増やす取り組みも行っていく必要があり、居宅やまゆりだけではなく、あんしん支援センターや老健に問い合わせ入所されたケースもあり、今後は連絡や関係作りを行っていく必要がある。また、利用者、家族にとっての良い施設を目指すのはもちろんだが、ケアマネの中でも評判が良い施設を目指し、そこから入所に繋がられると思われる。

2. 介護度の状況について

・令和5年度3月末では、平均介護度が1.58だったが、令和6年度3月末が2.47となっている。入退所により変動もあるが、介護度の変更申請を令和6年度は6名行ったことにより、6名が要介護4と判定され、介護度の適正化が図ることができた。今後も利用者のADL、アセスメントを行い、介護度の見直しを行っていく必要がある。

3. 感染対策について

・令和6年5月末には、はな✿はなユニットで利用者4名のコロナ感染があり、うち2名は入院されることとなった。

・令和6年度7月末より居室面会や外出を緩和しており、家族に喜んで頂くことが出来た。緩和後の感染状況については、利用者1名（インフルエンザ感染）職員1名（コロナ感染）となっており、感染経路は特定出来てはいないが面会や外出によるものではないと思われる。

4. 家族・地域との繋がり

・面会や外出の緩和により、居室面会や外出され、家族からも喜んで頂けた。また、地域とは地元の秋祭りでせせらぎの家にも寄って頂いた。

・3月にはせせらぎの家でマーケットとTree Ringsの演奏の交流会を家族、地域に向けて初めて行った。7件の家族と3件の地域の方が参加して下さい。

・引き続き、LINEでのお便りを家族へ送っている。

5. 他事業所との連携

・はな✿はなマーケットとして特養や通所に行ったり、移動サービスとして特養に行き、交流を図った。コロナ禍で遮断されていた地域交流の再開、せせらぎの家の取り組みを知って頂くきっかけとなった。多方面で取り組むについて知って頂くことができ、介護施設に対してプラスの印象を持っていただくことができた。

・せせらぎの家職員が特養の業務を学習するために、交換研修を行い、また、特養職員もせせらぎの家の業務を学ぶ交換研修を毎週月曜日に行った。業務習得まではいかなかったが、事業所連携の第一歩となったと思われる。

令和6年度 地域交流等実施状況

非定期交流			
活動名・内容	個人・団体名	人数	実施日
天理教ボランティア	天理教	5人程度	令和6年4月29日
吉栗サロン参加	吉栗自治会主催	10人程度	令和6年6月11日
出雲大社中学校福祉体験	出雲市立大社中学校	1学年	令和6年7月5日
出雲第三中学校福祉体験	出雲市立第三中学校	1学年	令和6年9月5日
佐田中学校福祉体験	出雲市立佐田中学校	1学年	令和6年9月27日
ふれあいだんだん祭り	当法人主催	利用者・職員	令和6年10月24日
介護実践発表会	当法人主催 やまゆり苑家族会共催		中止
窪田小学校和太鼓演奏	窪田小学校 和太鼓クラブ		

定期交流			
活動名・内容	個人・団体名	人数	実施日
お菓子販売	地元業者	1軒	総務課職員対応にて各毎月1回
美容・理容奉仕（散髪）	ハッピー号に委託	約15名/月	毎月1回

研修・実習受け入れ			
出雲西高等学校3年生 施設実習		2名	令和6年10月15日～10月18日
島根県立大学看護学科3年生 老年看護学実習		10名	令和6年10月8日～12月17日
トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 施設実習Ⅰ施設①		1名	令和7年2月4日～2月13日

その他（講師・求人活動等）			
トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 講師派遣 （コミュニケーション技術）		3名	令和6年4月2日～令和7年3月31日

※中止になった地域交流及び実習等の殆どは新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため

令和6年度 職員研修実施表(施設内研修)

研修名	実施日	参加者人数
介護福祉サービスに関する研修 担当：介護職員 接遇、身体拘束	令和6年4月22日～4月26日 プリント記入提出式の研修	38
防災訓練（土砂） 担当：施設課長補佐	令和6年5月21日 13:30～15:00	10
防災訓練（火災） 担当：施設課長補佐	令和6年7月25日 夜間帯での出火想定で実施 18:30～19:30	18
虐待、身体拘束の研修Ⅰ 担当：介護職員	令和6年8月22日～8月27日 プリント記入提出式の研修	46
生活リハビリ研修 担当：介護職員 移乗介助とポジショニング	令和6年9月21日～9月26日	35
介護事故防止に関する研修 担当：介護職員 窒息について	令和6年12月19日～12月27日 プリント記入提出式の研修	44
感染・食中毒研修 担当：医務 感染予防・ゾーニング	令和7年1月22日～1月27日	35
虐待防止に関する研修 担当：介護職員	令和7年1月27日～2月3日 プリント記入提出式の研修	36
認知症ケア研修 担当：認知症ケア委員会 認知症ケアの考え方	令和7年2月3日～2月10日	30
防災訓練（火災） 担当：事務所	令和7年2月21日 0:00頃の出荷を想定した総合訓練 18:30～19:30	18
身体拘束に関する研修 担当：介護職員	令和7年2月20日～2月28日 プリント記入提出式の研修	36
看取りケア研修 担当：看取りケア委員会 興味関心チェックシートと看取りについて	令和7年2月20日～2月27日	46
感染予防の研修Ⅱ（BCPに関する研修） 担当：医務	令和7年3月13日～3月31日	41
介護事故防止に関する研修 担当：介護職員 KYC	令和7年3月22日～3月26日 プリント記入提出式の研修	35

令和6年度 事業報告 通所かがやきの家

(地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援事業(総合事業))

令和6年度目標

○「心のやすらぎ、ふれあいの広場、生きがいのづくり」を大切に
思いをつなぐ かがやきの家

【利用実績】 (定員18名、週6日営業、年間309日営業)

1. 利用者数 1日平均利用者数15.7名(稼働率87.0%) 平均介護度1.3

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	320	330	316	348	357	338	332	360	346	255	293	339	3,934
総合	73	81	71	82	89	86	83	75	78	57	68	71	914
合計	393	411	387	430	446	424	415	435	424	312	361	410	4,848

【行事報告】

4月	ツリーリングス 演奏会	5月	音楽ボランティア (オカリナ) 防火訓練	6月	音楽ボランティア (三味線)
7月	紫陽花見学	8月	ミュージックケア 三世代交流	9月	敬老会 講話(佐田駐在所)
10月	ミニミニ運動会 法人秋祭り	11月	防火訓練	12月	クリスマス会
1月	作品作り	2月	節分祭	3月	ひな祭り

【考察】

1. 経営の安定

年間の平均稼働率は87.0%と目標の88.8%を達成する事が出来なかったが登録人数は50名以上確保する事が出来、稼働率が90%を超える月は4回あった。1月に感染症の蔓延もあり稼働率が73%と大きく下がった事が要因としてあげられる。1月以外は年間を通して稼働率の維持が出来た。

2. 質の高いサービス提供

- ・毎朝のミーティングで情報共有をしながら統一したケアの提供が出来た。
- ・個人の年間目標を明確にして職員一人ひとりが得意な分野で力を発揮できるようにした。苦手な事は互いに助け合いながら行う事が出来た。
- ・出掛ける事で楽しい時間を過ごして頂けるよう利用者の個々のニーズを把握し、利用者に寄り添うケアに努めた。

3. 安全対策・環境整備

- ・職員間の情報共有を徹底する事でヒヤリハットは発生したが大きな事故はなかった。
- ・感染症予防対策はやまゆりKYC活動を毎朝実施し利用者、職員の健康に繋げることが出来た。1月はインフルエンザが蔓延し職員、利用者から感染者が発生した。
- ・5月と11月に防火訓練を実施し日頃からの防災意識の向上をする事が出来た。

令和6年度 事業報告

通所やまゆり

(地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援事業(総合事業))

令和6年度目標

○利用者様が1日安心して過ごす事が出来る事業所作り

【利用実績】 (定員18名、週5日営業、年間257日営業)

1. 利用者数 1日平均利用者数14.2名(稼働率78.7%) 平均介護度1.1

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	203	220	179	203	206	205	213	200	209	202	206	211	2,457
総合	92	115	96	111	101	91	99	98	102	97	97	101	1,200
合計	295	335	275	314	307	296	312	298	311	299	303	312	3,657

【行事報告】

4月	外出(花見、志津見ダム)	5月	外出(きらら多伎)	6月	外出(紫陽花見学)
7月	七夕会 外出(須佐神社)	8月	作品作り	9月	敬老会
10月	法人秋祭り	11月	外出(紅葉見学) 防火訓練	12月	クリスマス会
1月	新春お楽しみ会	2月	節分祭	3月	ひな祭り 防火訓練

【考察】

1. 経営の安定

居宅介護支援事業所等との連携を取りながら、新規利用者の確保や稼働率アップに努めた。6～9月は利用者の入院が続いた事、新規利用者を獲得出来なかった事などから稼働率が低下し、目標の15人/日には届かなかった。12月以降は感染症流行の時期の影響が少なかったことから稼働率が安定した。年間の稼働率は78.7%と前年度78.4%を僅かに上回る事が出来たが目標の83.3%には及ばなかった。

2. 質の高いサービスの提供

専門的知識や技術の向上を図るため課内研修へ参加したり朝のミーティング等を活用して情報共有に努めた。その結果、利用者個々のニーズに応じた統一したケアに努める事が出来た。2名の外国籍の職員も業務を習得し、サービスの質を向上させることが出来た。特浴を導入した事で、利用者の身体状況に合わせた入浴介助が実施でき、利用者の満足度の向上に繋がった。また、季節ごとの行事や社会参加、外出を通して利用者の楽しみや生活意欲の向上へ繋がるように支援した。

3. 安全対策・環境整備

やまゆりKYCを実施し職員一人一人が感染予防の意識を継続出来、感染症の蔓延等なく稼働率へも影響しなかった。11月と3月に防火訓練を実施し防災意識を向上する事が出来た。

令和 6 年度 事業報告

稗原デイサービスセンターやまゆり

(地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援事業(総合事業))

令和 6 年度目標

○美味しい食事と個々が輝くデイサービス

【利用実績】 (定員 18 名、週 6 日営業、年間 309 日営業)

1. 利用者数 1 日平均利用者数 7.0 名(稼働率 70.1%) 平均介護度 1.7

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
介護	179	174	157	166	180	173	176	158	151	158	185	230	2,087
総合	5	5	4	4	5	4	8	8	7	8	12	8	78
合計	184	179	161	170	185	177	184	166	158	166	197	238	2,165

【行事報告】

4 月	花見(所原)	5 月	外出(きらら多伎)	6 月	笹巻作り
7 月	外出(佐田、市森神社)	8 月	外出(パン屋)	9 月	敬老会 中学校体験学習
10 月	外出(キララ多伎) 法人秋祭り 防火訓練	11 月	ボランティア演奏会	12 月	クリスマス会
1 月	お正月行事	2 月	節分祭 防火訓練	3 月	季節のお菓子作り

【考察】

1. 経営の安定

令和 5 年度の平均稼働率 77.9%に対し令和 6 年度の平均稼働率は 70.1%であった。月初に各居宅介護支援事業所へ出向き実績を手渡し、情報交換や空き状況等情報交換を行い、コミュニケーションを図り関係性の構築を図った。稼働率が伸び悩んだ要因として前期は利用者の入院や体調不良による休みが多くあった。又、土曜日の利用者確保ができず稼働率があまり伸びなかった。後期は入院された利用者の利用再開や新規利用者の確保ができ、実際に利用されている利用者のニーズに合わせて利用回数の変更を各居宅介護支援事業所と相談しながら対応する事ができた。

2. 職員の資質向上と人材育成

課内研修へ事業所全体で積極的に参加し、参加出来なかった職員には資料を配布し伝達を行った。実際に利用されている利用者の状態や行っているケアの根拠を考えながら研修に参加する事で、利用者の状態に合わせながら考える機会となり、実際の現場で実践する際に職員の間でも自信に繋がった。又、研修に参加し事業所全体で共有する事で提供するサービスの質の向上にも繋がった。課外研修については事業所内での参加はなかった。今後案内があった際は事業所全体で参加できるよう調整し更なる事業所のサービスの質の向上に繋げていく。

3. 個別ケア

利用者が抱えるニーズに基づいてアセスメントを実施し、適切な介助方法を検討した上で、サービスの根拠を理解し実践した。また、職員間で情報共有してケアの統一を図り、質の高いサービスを提供することができた。さらに、毎月の行事や外出計画については職員間で担当制を導入しそれぞれが責任を持って準備を進めた。その結果、行事や外出時に利用者のニーズや要望に応じた対応が可能となり、事業所全体で行事運営を円滑に行うことができた。

4. 安全対策・環境整備

- ・職員間の情報共有を徹底する事で、ヒヤリハット事例は発生したが大きな事故はなかった。
- ・感染症予防対策はやまゆり KYC 活動を毎朝実施し利用者、職員の健康に繋げることが出来た。
- ・10月と2月に防火訓練を実施し日頃からの防災意識の向上をする事が出来た。

令和6年度 事業報告
浜山デイサービスセンター野いちご
(通所介護、介護予防・日常生活支援事業(総合事業))

【利用実績】 (定員 20 名、週 5 日営業、年間 257 日営業)

1. 利用者数 1 日平均利用者数 14.5 名(稼働率 72.5%) 平均介護度 1.5

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	323	349	288	352	309	295	324	281	286	263	252	281	3,603
総合	8	9	19	10	8	8	9	14	15	13	12	12	137
合計	331	358	307	362	317	303	333	295	301	276	264	293	3,740

【行事報告】

4月	開所式典 誕生会 桜見物	5月	誕生会	6月	花菖蒲見学 誕生会
7月	七夕 誕生会 ハーモニカ演奏会	8月	誕生会	9月	敬老会 誕生会
10月	やまゆり秋祭り 誕生会	11月	花の郷外出 誕生会	12月	クリスマス会 誕生会
1月	書初め、福笑い 誕生会	2月	節分ゲーム 誕生会	3月	オカリナ演奏会 防災訓練(火災) 誕生会

毎月誕生会実施。(色紙贈呈)

【考察】

1. 経営の安定

年間の稼働率は72.5%と目標の稼働率85%(一日利用者数17人以上)には及ばなかった。各居宅介護支援事業所と連携をとっていたが、新規の問い合わせがあってもなかなか利用に繋がらなかったり、職員減により、利用者数を積極的に増やすことができなかった。各居宅のケアマネジャーへ実績報告と一緒に空き状況を記載したパンフレットを配布し、その結果、新規利用やお試し利用が増えた。

2. 質の高いサービスの提供

在宅課の職員研修に参加し、スキルアップに努めた。職員減により外出行事や地域との交流は積極的には行えなかったが、ボランティアによる演奏会や、外出を限定的に行い、利用者の楽しみや生活意欲の向上に繋がるように工夫した。

3. 安全対策、環境整備

毎朝のミーティングで利用者一人一人の注意事項を確認、共有することで事故発生防止に努めた。事故発生時は事故報告書で転倒などの状況を分析し、事故再発防止に努めた。

ご家族が感染症にかかったときは欠席して頂くなど感染予防に努め、手洗い、うがいの励行、健康観察などを実施し、感染症の蔓延を防止することができた。食中毒の発生も防止できた。

防災訓練を実施し、利用者、職員の防災意識の向上をすることができた。

令和6年度 事業報告 やまゆり居宅介護支援事業所

令和6年度目標

○「住み慣れた地域で暮らしたいを支えます」
～つながる、ひろがる、認め合う～

【利用実績】

1. 居宅介護支援 月平均 98.4 名 平均介護度 1.9

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	114	110	111	92	90	99	99	100	94	92	90	90	1,181

2. 介護予防支援業務（出雲高齢者あんしん支援センター受託分）月平均受託者数 50.9 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	43	43	47	37	38	36	35	36	38	37	43	42	475
総合	17	14	16	13	10	10	11	8	10	9	9	9	136
合計	60	57	63	50	48	46	46	44	48	46	52	51	611

【考察】

1. 経営の安定

ケアプラン作成件数は介護給付 98 人/月 予防給付 50 人/月であった。6 月末で職員が 1 名退職し目標の介護給付 110 人/月 予防給付 60 人/月には届かなかった。全体的に件数の減少があるが管理者を兼務している職員もいる事など人員配置によって適宜の目標修正を行いながら個人の目標件数は概ね達成する事が出来た。

各種の算定要件を満たすことが出来、特定事業所加算Ⅱを取得する事が出来た。今年度は介護支援専門員実務者研修の実習受け入れを行う事が出来た。

2. ケアマネジメント力の向上、地域貢献について

介護保険法に則り、公平な立場で業務を遂行できた。ケアマネジャーの資質向上のために毎週のミーティングや施設内外で開催された研修へも積極的に参加が出来た。

個別のケースに応じてフォーマルサービスだけでなくインフォーマルサービスや地域資源の紹介を行った（SOS メール、乗り合いバス制度、独居の方のゴミ収集について等）

広報活動ではやまゆりの広報には記載が出来なかった。SNS への投稿も定期的に出来なかった。令和7年度は積極的に SNS を利用し居宅のケアマネジャーの仕事の魅力や事業所の活動を報告し、働きたいと思えるような発信を継続的に行う。

令和6年度 事業報告
やまゆり訪問介護事業所

(訪問介護・訪問型サービス(第1号訪問事業)・障がい福祉サービス)

令和6年度目標

○一人ひとりの思いに寄り添い、笑顔あふれる訪問介護

【利用実績】

1. 介護・総合訪問回数 1日平均訪問回数 10.1回 平均介護度 1.0

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	216	231	232	229	226	221	246	247	228	207	182	168	2,633
総合	84	85	88	92	89	84	93	89	94	87	83	95	1,063
合計	300	316	320	321	315	305	339	336	322	294	265	263	3,696

2. 障がい福祉訪問回数 1日平均訪問回数 1.75回

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延訪問回数	43	49	51	51	58	54	58	56	57	57	51	57	642

【考察】

1. 経営の安定

介護保険事業について月の目標訪問件数 230 件に対し平均 220 件、総合事業は月の目標件数 40 件に対し平均 88 件、障害福祉サービスは月の目標 100 件に対し 53 件であった。退職や異動により職員減となったがスケジュール調整をしながら可能な限りサービス提供を継続した。前年度収支差額対しては 162%の結果であった。

2. 質の高いサービス提供

- ・月1回の事業所内ミーティングを実施し情報共有や振り返りを行い、利用者の状態に合わせた支援を行った。自立支援・重度化防止を目標とし利用者が出来る事、出来るようになった事をきちんと評価しながら支援を行う事が出来た。
- ・利用者、家族の思いを傾聴し信頼関係を築く事を目標に話しやすい関係作りに努めた。
- ・研修参加への声掛けや参加しやすい勤務調整を行い、法人内研修への参加率が向上した。参加率が上がった事で職員一人ひとりの満足度やスキルの向上に繋げる事が出来た。外部研修への参加は出来なかった。

3. 安全対策・環境整備

- ・ヒヤリハットの分析、防止対策を行い情報共有した。ニーズに合わせたリスクマネジメント等の情報共有を行う事が出来た。感染症対策としてやまゆりKYCを各自で実施し手洗い、消毒など徹底する事が出来た。

4. 魅力の発信

訪問先での様子や職員の休日の様子をSNSに発信し、訪問介護のやりがいや、働きやすい職場環境のアピールをする事が出来た。

令和6年度 事業報告
障がい者相談支援事業所 ほっと

令和6年度目標

○「あなたらしい」生活を。自分で選び、自分で決める。

【利用実績】

1. 利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	8	8	8	8	10	11	11	12	12	12	12	12	124

【考察】

1. 適切なサービス利用計画の作成

新規利用者を獲得することが出来、目標数を達成することが出来た。

サービス利用計画の作成については、利用者、家族の思いを受け止め、同意を得ながら作成できている。

2. 関係機関との連携

行政や病院、サービス提供事業所と連携をとりながら行った。利用者のニーズに合わせた社会資源の掘り起しまでは出来なかった。今後もその視点を忘れないようにする。サービス調整をしていく中で、調整がうまくいかないことがあり、社会資源の不足などに対する情報発信の大切さを感じた。

3. 職員の専門性の向上

サービス調整会議への参加や訪問指導を受け、様々な学びがあった。

令和6年度 事業報告 生活支援ハウス（居住）

令和6年度目標

○健康で生きがいを持ち、顔なじみの方が住む地域で、自分らしく
いきいきとした生活ができる

【実績】

1. 入居者数 入居実績（入院含む）年間総計 2,750 名、一日平均入居者数名 7.5 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延入居者数	240	243	210	217	217	210	217	210	217	238	252	279	2,750

【行事報告】

4月	お花見・外出 (三刀屋)	5月	土砂災害訓練	7月	防火訓練
8月	お盆行事 (お墓参りなど)	9月	敬老会 お彼岸(おはぎ作り)	11月	外食・買い物
12月	クリスマス会	1月	お正月 茶会	3月	お彼岸 (ぼたもち作り)

【考察】

1. 経営の安定

1日あたり利用者数9名を目標にしていたが、新型コロナウイルス感染症の発生や退去者もあり7.5名の稼働率であった。新規の申し込み予定者もなく空床が続く形となった。

2. 楽しみのある生活

誕生会やクリスマス会など季節の行事を年間計画に沿って実施する事が出来た。今年度は外出をする機会が増え、入居者が希望される場所へ外出したり、買い物へ行くことが出来た。併設している特養の秋祭りにも久しぶりに参加をする事が出来た。

3. 質の高いサービス提供

毎月の課内研修は集合研修への参加は出来なかったが、レポート形式の研修へは参加が出来た。事業所内での情報共有は連絡ノート等を使用し日勤も夜勤も対応方法の統一が出来た。

4. 安全対策・環境整備

年2回の防火訓練には夜勤者2名ずつで参加し防災意識の向上に努める事が出来た。土砂災害避難訓練も参加し避難準備から避難完了までをしっかりと訓練する事が出来た。

令和6年度 行事、地域交流実施状況

通所かがやきの家

	行事・交流名、内容	個人・団体名	実施日	人数
	演奏会	やまゆりツリーリングス	4月12日	8
	音楽ボランティア	チームブラボー	5月30日	7
	音楽ボランティア	三味線演奏	6月1日	1
	演奏会	ミュージックア	8月21日	1
	三世代交流	社協、児童クラブ	8月23日	10
	講話	佐田駐在所	9月10日	1
	法人秋祭り	法人やまゆり利用者	10月24日	

通所やまゆり

	活動内容	個人・団体名	実施日	人数
	音楽ボランティア	チームブラボー	5月18日	7
	事業所交流	稗原デイサービス利用者	7月4日	7
	福祉交流活動	出雲三中 三年生	9月5日	1
	介護の基礎的講座	佐田中学校1年生	9月27日	1
	法人秋祭り	法人やまゆり利用者	10月24日	
	音楽ボランティア	ハーモニカ演奏	1月10日	1

稗原デイサービスセンターやまゆり

	行事・交流名、内容	個人・団体名	実施日	人数
	事業所交流	通所やまゆり 利用者	7月4日	13
	職場体験学習	出雲南中	9月24日、25日	1
	音楽ボランティア	チームブラボー	11月7日	7
	法人秋祭り	法人やまゆり利用者	10月24日	

浜山デイサービスセンター野いちご

	行事・交流名、内容	個人・団体名	実施日	人数
	演奏会	やまゆりツリーリングス	4月1日	8
	演奏会、寸劇	法人職員	4月10日	3
	介護の基礎的講座	大社中学校	7月5日	1
	法人秋祭り	法人やまゆり利用者	10月24日	

居宅

	行事・交流名、内容	個人・団体名	実施日	人数
	福祉交流活動	出雲三中3年生	9月7日	2
	在宅課 合同敬老会		9月19日	6
	法人秋祭り	法人やまゆり利用者	10月24日	

居住

	活動内容	個人・団体名	実施日	人数
	交流会	民生児童委員	中止	
	法人秋祭り	法人やまゆり利用者	10月24日	

実習受け入れ状況

実習学校・個人名、日程、人数	実習先
島根県立大学看護学部看護学科 1名 4/15, 23	居宅介護支援事業所
介護支援専門員実務者研修 1名 2/20, 21, 25	居宅介護支援事業所

令和6年度 在宅課 研修実施表（施設外研修）

事業所名	研修名	実施日	人数	場所
居宅	在宅療養懇話会	4月9日 6月11日 8月20日 10月8日 12月10日	1	出雲医師会館
	出雲圏域難病医療研修会	6月11日	2	出雲保健所
	地域ケア個別会議	6月18日	2	湖陵コミュニティセンター
	気付きの事例検討会	8月21日	1	もくもく苑
	居宅介護支援事業者 研修会	9月10日、2月6日、20日	3	出雲科学館
	介護支援専門員更新研修Ⅱ	10月17日、18日、11月12日	2	くにびきメッセ
	3居宅(湖陵・多伎・佐田)事例検討会	12月19日	3	湖陵あんしん支援センター
	意思決定支援研修会	12月13日	1	出雲体育館
	緩和ケア地域連携カンファレンス	12月14日	2	WEB
	ケアマネジメント研修	2月28日	1	パルメイト出雲
	出雲市障がい者相談支援機能強化事業	3月4日	6	出雲保健所
	出雲リハケアネット研修会	3月9日	1	朱鷺会館
ほっと	相談支援専門員初任者研修	7月29日・30日・8月30日 10月30日	1	朱鷺会館ほか
	障がい者虐待防止・権利擁護研修	2月18日・3月3日	1	朱鷺会館

令和6年度 在宅課 職員研修実施表（施設内研修）

研修内容	月日	参加人数
倫理及び法令順守	4月24日(水)	レポート形式
個人情報保護とプライバシーの保護	5月17日(水)	14
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止	6月19日(水)	20
非常災害時の対応 業務継続計画(BCPについて)	7月17日(水)	動画視聴
認知症について	8月21日(水)	15
接遇について	9月18日(水)	10
介護リスクマネジメントと介護事故防止	10月16日(水)	21
緊急時の対応と救急法	11月20日(水)	20
高齢者虐待防止	12月18日(水)	16
障がいの特性と配慮や支援のポイント	1月22日(水)	18
介護予防と要介護度進行予防	2月26日(水)	20
令和6年度 活動報告	3月26日(水)	26

